

都道府県名：愛知県

【経営の概要】

栽培作物：輪ギク

経営形態：周年生産・周年出荷

経営規模：ガラス室、ビニルハウス、硬質フィルムハウス 60 a

生産量：57万本（年間作付け面積：147 a）

作型・品種：11月上旬～ 6月中旬出荷（神馬2号）

6月下旬～10月下旬出荷（岩の白扇、精の波）

【対策の内容】－輪ギク低温開花性品種の導入－

一昨年より、加温栽培となる12月から6月出荷の作型に、低温でも生育・開花性に優れる系統「神馬2号」を導入した。

この「神馬2号」は在来種から系統選抜したもので、在来種の「神馬」に比べ2～3℃低い温度で生育・開花する。

地域の生育ステージ別の温度管理指標は表1のとおりである。

表1 生育ステージ別温度管理

系統	管理温度（夜温）	
	栄養成長期	花芽分化期
在来神馬	15℃	20℃
神馬2号	13℃	17℃

【対策の実践効果】

3月出荷作型での節油効果は下表のとおりで、重油使用量で26%削減できた。品質的には、特に問題はなかった。

項目	在来品種（A）	取組後（B）	B/A
燃料の種類と使用量	A 重油：8.5KL/10a	A 重油：6.3KL/10a	74%
加温に係る燃料経費 ①	680,000 円/10a	504,000 円/10a	—
対策費用（苗の購入） ②	—	0 円/10a	—
①+②	680,000 円/10a	504,000 円/10a	74%

注）・神馬2号の導入時、定植穂を購入。費用として200千円支出したが、自己増殖可能な品種で上の表では0円とした。

- ・生産施設：ガラス温室（2軸2層カーテン）、温風暖房
- ・燃料経費①：A重油価格80円/Lで算出

【今後の課題】

- ①品質を低下させずに、より低温で管理できる栽培管理方法の確立。
- ②品質向上や収量確保のための、出荷時期別再電照方法や肥培管理技術の確立。

【問い合わせ先】

愛知県田原農業普及指導センター 電話：0531-22-0381

